

【外国人・外国にルーツを持つ子どもたちへの支援】

(要請内容)

- (1) 日本語の能力が十分でない外国人児童生徒等は、言葉のハンディから、学習や交友関係の形成に困難を抱えがちです。外国人の子どもたちへの就学機会の提供、学校における日本語指導等の体制確立を進めるために、以下の施策について一層の推進を要請します。
- ①来日直後・小学校入学直後等の外国人児童生徒等に対し、初期の日本語指導や生活面の適応指導などの初期集中支援を実施。
 - ②多言語翻訳システムや、音声読み上げ・漢字へのルビ振り等の機能を持つ ICT 教材等を活用し、外国人児童生徒等に対する教育の充実をはかる。
 - ③外国人児童生徒等だけでなくその保護者に対しても、多言語翻訳システムを活用したコミュニケーションや、母語支援員等による遠隔での説明・相談など、支援の仕方を工夫する。
 - ④外国人児童生徒等の保護者や各学校・教師等に対し、国や各地方公共団体の施策に関する情報が行き渡っていないとの指摘もあります。保護者や教師等が、行政機関等が提供する情報に容易にアクセスできること。
 - ⑤日本語指導のための教師等の十分な確保。
 - ⑥地域の N P O ・ボランティア団体、日本語教室等との更なる連携強化。